

弥生のお話会



考古学者などが語る下之郷遺跡 約2,200年前の環濠集落に思いをはせ

ムラを囲む巨大環濠から動物や魚の骨のほか、木製の盾や弓、石剣などが見つかったことや区画溝で囲んだ大型建物があったことなど、下之郷遺跡136回の発掘調査から見てきた生活風景などが紹介されました。参加者は、岡村 道雄さん(奈良文化財研究所 名誉研究員)など考古学者の話に耳を傾けながら弥生時代に思いをはせました。

2月16日 | 下之郷遺跡公園

マジックパパのふしぎあそび



飛び出す「びっくりストロー」など マジックでパパも子どもも笑顔に

子育てパパと家族の絆を深めてもらおうと、男女共同参画事業の一環で開催されました。子育てに活かせるマジック教室の部では、講師の和田 のりあきさんによるマジックショーのほか、保護者に手伝ってもらいながらストローやトランプなどを使った簡単なマジックに挑戦した子どもたちは「できた!面白い」と笑みをこぼしていました。

2月15日 | 市民ホール

いけばな池坊展



県内9支部の作品が一堂に 会場は華やかな空気に包まれ

華道家元池坊滋賀県連合支部の主催で、「遥です・華です・花を生けよう」をテーマに、県内9支部の会員の作品153瓶が一堂に会場を彩りました。訪れた市民は、伝統的な型の作品や自由花など、一つひとつの作品をじっくりと観賞しながら、花に顔を近づけたり、下がって全体を眺めたりして一足早い春の風景を楽しんでいました。

2月23日、24日 | 市民ホール

菜の花 OUTDOOR Fes 2025



菜の花、琵琶湖、比良山が織りなす絶景のもと アウトドア体験を楽しむ

市観光物産協会の主催で開催されました。早咲きのカンザキハナナ約12,000本が咲く菜の花畑と雪の比良山系の絶景の中、キッチンカーや、ゲストのたけだバーベキューさんによるキャンプ飯イベントで飲食を楽しんだほか、キャンピングカー、ロゴスのキャンプグッズの展示も行われ、来場者は「ぜいたくなひとときを過ごせた」と話していました。

2月16日 | 第1なぎさ公園

守山市の人口

令和7年2月28日現在
(前月比)

人口	85,973 (+ 62)
男	42,280 (+ 27)
女	43,693 (+ 35)
世帯数	35,538 (+ 63)

も歩いていける。そう答辞を讀んでから、幾年か。さまでまな靴と歩いて来た▼最初のお気に入りにはラメが輝くビーチ靴。川遊びで片方を流してしまいショックを受けたが、自身が流されずにすんで良かったと今は思う。次は時代を表す15cmの厚底サンダル。高さと重さを枷とせず、よくぞ走れたさすが10代。素っ気ない運動靴は制服の頃、その後長くは華奢なヒールが愛用品。体重増とともに近年、ローヒールが定番となるも、靴を通して思い出される姿はいつも楽しそうである▼さて、もとい。聞け、15の私と卒業生。足に合う靴が見つからない時が来ても、裸足で踏み出す貴さをここに記そう。「似合う」が見つからないことに悩む。大地は靴の代わりに優しく包む。進め、楽しむために生きよ。大切なあなた、卒業おめでとう。(C) 卒業シーズンである。靴さえあればどこまで一足に合った。

